

モニタリング結果報告書

施設 スポーツ会館

指定管理者 財団法人神奈川県体育協会

施設所管課 スポーツ課

(平成23年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況（1～9の結果を踏まえ、判定してください）

B

- A : 提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B : 提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C : 提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D : 提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月16日	5月31日	月報により適正に行われていると認められる。
5月	6月15日	6月23日	同上
6月	7月11日	7月22日	同上
7月	8月10日	8月26日	同上
8月	9月14日	9月29日	同上
9月	10月11日	10月21日	同上

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

〔指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。〕

<提案内容の概要>

年末年始、施設点検日（月1回）を除く、原則無休による開館日の拡大。（39日/年度 拡大）
※条例に定める休館日：月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土・日・休日を除く）、年末年始

<実施状況>

開館日拡大の実績

4月：3日

5月：5日

6月：3日

7月：3日

8月：4日

9月：2日

3 収支状況 (単位:千円) 注: 千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	22,798 (22,798)	20,997 (20,997)	1,801 (1,801)		22,798 (22,798)	0
上(下)半期予算額						
4月	1,644	1,422	222		832	812
5月	1,668	1,425	243		1,488	180
6月	3,282	3,068	214		3,151	131
7月	1,648	1,418	230		1,561	87
8月	1,658	1,419	239		1,623	35
9月	1,623	1,419	204		1,348	275
今年度 半期計	11,523	10,171	1,352		10,003	1,520
前年度 同期計	11,923	10,506	1,417		10,348	1,575

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
- ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

- ①該当なし
- ②上半期の収支差額については、主に東日本大震災の影響による節電の実施により光熱水費の節減、東日本大震災の影響による計画停電等により周辺施設が運営を自粛する中、速やかに通常運営を行う等、利用促進に努めしたことにより、利用料収入が当初の見込みより増加したこと等により生じたものと考えられます。
- ③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

⇒該当なし

10万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をより的確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。

2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	—	—
下半期	—	—
総額	—	—

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	4,487人	4,222人	6.3%
5月	4,519人	4,720人	△4.3%
6月	4,415人	4,729人	△6.6%
7月	3,245人	3,636人	△10.8%
8月	3,526人	3,476人	1.4%
9月	3,740人	3,919人	△4.6%

	目標利用者数	利用者数	前年同月 利用者数	目標対比 増減率	前年対比 増減率
今年度 上半期計	一人	23,932人	24,702人	—%	△3.1%
今年度 下半期計	一人	一人	一人	—%	—%

利用状況に関する意見等

- ①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）
 ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
 なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①②該当なし

5 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）⇒該当なし

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
5月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
6月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
7月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
8月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
9月	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

⇒該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

⇒該当なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

8 隨時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

⇒該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>施設管理運営の面は、年数が経つにつれて故障個所が多くなってきており、日頃の管理を今まで以上に行い、常に点検を実施し、故障、破損等は早めに修繕等対応し、安全に利用できるよう努めている。</p> <p>今夏の節電は、廊下や共用部分等の電灯の一部を外したりして、特に節電に努めている。また、利用者の方々には館内掲示などにより利用の安全に支障のない範囲で、更なる節電の協力をお願いしている。</p> <p>利用者対応については、新規利用者には利用予約システムの利用方法や利用上のルールを丁寧に説明し、日頃の利用者管理においても、できる限り見回りを行い、施設利用上のトラブルが起こらないよう心がけている。</p> <p>上半期の業務実施状況は良好に運営できているものと考える。</p>
施設所管課	<p>昨年度に引き続き利用者間の調整や光熱費の節減に配慮している。また、事故等もなく安全に管理されており、特筆すべき苦情もないことから、全体として適正な管理運営が行われていると考える。</p> <p>ただし、昨年度と比較して利用人数は減少しているため、下半期は、引き続き適切な施設の管理運営と利用者の増加に繋がる取組み等利用促進が図られることを期待したい。</p>